【2021年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

	科	 ·目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期	押等	
健康科学論					必修	1		通年(集		
			研究室		业修 電子メール I					
						ע	オフィスアワー			
		聡 他	C306 sshimo			水曜日 12:10~13:00				
授業	类の目的・概要	「心身ともに健やかで活気に満ちた状態」である健康を維持するため、健康を損なって疾病に陥ることなく、健康増進を図ることは、現代を生きる社会人にとって欠かせない生活上のテーマである。本講義では、医療・保健・福祉の専門的な知識の基礎を理解するため、学科の教員がオムニバス形式で開講する。基礎医学における最新の学術的知見や各専門職の現場実践での話題を通じて「生命を深く理解する」学びの素地を身に付けることを目的とする。これらの内容については、同時双方向型授業としてメディア(Microsoft Teams)を利用した意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的に理解を深める。								
学	習上の助言	講座を通して、学科の	卆を超えて、本学の各専門分野の全体像をつかんで欲しい。							
教	科 書	特に指定しない。教員	が資料を準備する	0						
参	考 書	特に指定しない。								
		学生が達成す	でき行動目標				関連卒業認定・	学位授与力	5針	
1	健康の概念、医	療について概要を説明で	きる。	る。				HSU(1)∼(3)		
2		能について概要を理解し						HSU(1), (2)		
3	健康や看護およ	びリハビリテーションに	関わる専門職につ	いて概要	を説明できる	0 0	HSU(1)∼(3)			
<u>4</u>										
(<u>5</u>)										
0				計	画					
口			汉 未		四 授業の方法	学	習課題・学習時間	引 (時間)		
Ė	オリエンテーシ	ョン、電子顕微鏡による	生物のミクロ世界の		10/11/11/11/11	1-	□ ₩IVŒ 1. □ ₩IE	2 (a.le1)		
1	について学ぶ フィードバック	: 授業時間内に実施 : 授業時間内に実施	[担当: 起		同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	等での	4	
2	フィードバック	もつ人々と私たちの健康 :授業時間内に実施 :授業時間内に実施			同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	等での	4	
3	フィードバック	医療者としての倫理を学 : 授業時間内に実施 : 授業時間内に実施			同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	等での	4	
4	健康とはどうい フィードバック	康生成論の比較を行いた う状態なのかその構成要 : 授業時間内に実施 : 授業時間内に実施	xがら高齢者にと・	っての	同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	等での	4	
5	フィードバック 意見交換の機会	や細胞を用いた創薬関連 : 授業時間内に実施 : 授業時間内に実施	[担当:田中		同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	等での	4	
6	フィードバック 意見交換の機会	とそのリハビリテーショ : 授業時間内に実施 : 授業時間内に実施	[担当:小∛		同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	等での	4	
7	~ フィードバック	スとしごと」について学。 :授業時間内に実施 :授業時間内に実施	ぶ①〜笑いの力を会でである。 「担当:消		同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	争での	4	
8	を知ろう〜 フィードバック	スとしごと」について学。 : 授業時間内に実施 : 授業時間内に実施		仕組み	同時双方向 型授業	Teams	による配布資料等 復習	等での	4	

試	定期	試験は	験は行わない								
						達成度評価					
	4	総合評価割合(%)		%)	試験	レポート	成果発表	ポートフォリ オ	その他	合計	
					0	100	0	0	0	100	
総合力指標	_	知識・技術力			0	10	0	0	0	10	
	<u> </u>	思考・推論・創造する力			0	10	0	0	0	10	
		協調性・リーダーシップ			0	0	0	0	0	0	
刀指	. -	発表・表現伝達する力			0	60	0	0	0	60	
標	<u> </u>	コミュニケーション力			0	0	0	0	0	0	
		取組みの姿勢・意欲			0	10	0	0	0	10	
		問題を発見・解決する力		_	10	0	0	U	10		
≑ 亚。	評価方法		行動目標		評価のポイント 評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法		
	一刀 は	1 (I)			評価の美胞方法と注息点						
		2									
		3									
Ī	試験	4									
		5									
		6)								
		1	· 🗸								
		2	· 🗸	夕同 港羊は	容の要約をリ	レポートの添削・評価					
12	ポート	3	· 🗸								
	717.	4)	評価基準(ルーブリックにより評価) については初回講義(志茂担当回)で説明する。					レカ・トの分類は日本・日本		
		5)	ヨ凹/ 、『枕げ	1 9 る。						
		6									
		1									
		2	_						1		
成	果発表	3									
		4							!		
		<u>5</u>									
		1									
		2									
		(2)									
末"、	ートフォリン	4									
		(5)									
		6									
その		1	_								
		2									
	一の他	3									
	<u> </u>	4									
		5									
		6)			/					
						備 考					

担当教員:◎志茂聡、山田真衣、窪川理英、三科貴博、田中将志、小沢健一、瀧口綾、前川真奈美

教員の実務経験:各教員は基礎医学、理学療法、作業療法、福祉心理、看護の分野の専門家であり、教育、研究および臨床経験が豊富である。

実践的授業の内容:この授業では、基礎医学をはじめ理学療法、作業療法、福祉心理、看護の専門家が、健康に関わる最新の学術的話題や臨床現場での実践および課題についての話題を提供し、受講者と一緒に健康を科学的に理解する思考を学んでいく。

Teams を使って遠隔授業を行う。

課題ダウンロード等があるので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。

今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。